

企画展「まなざしのあとさき」開催！

はじまりの美術館では、2月15日より企画展「まなざしのあとさき」を開催いたします。今年度より採択された令和元年度福島県障がい者芸術文化活動支援センター事業の展覧会となります。会期初日である2月15日13:30からは、ギャラリートーク+アーティスト in はじまりの美術館として出展作家のK0☆氏、鈴木一郎氏、鈴木盛衛氏が滞在予定です。ぜひご取材ご検討のほどよろしく願いいたします。



展覧会概要

タイトル：「まなざしのあとさき」

会場：はじまりの美術館(福島県耶麻郡猪苗代町新町4873)

会期：2020年2月15日(土)~3月29日(日) 10:00~18:00 ※火曜休館 ※3月20日(金)16時閉館

観覧料：一般500円、65歳以上250円、

高校生以下・障がい者手帳をお持ちの方および付添いの方(1名まで)無料

出展作家：大関 小夜子、K0☆、鈴木 一郎、鈴木 盛衛

主催：社会福祉法人安積愛育園 はじまりの美術館

協力：社会福祉法人会津療育会 障がい者支援施設アガッセ、

社会福祉法人天心会 救護施設しののめ荘

後援：福島県、福島県教育委員会、猪苗代町、猪苗代町教育委員会、あさかホスピタルグループ(申請中含む)

令和元年度福島県障がい者芸術文化活動支援センター事業

展覧会コンセプト

作品は、どのように生まれ、どのように残っていくのでしょうか。
作品が残るといふのは、どういうことなのでしょう。

今回の展覧会では、会津地域にゆかりのある大関小夜子、K0☆、鈴木一郎、鈴木盛衛をご紹介します。この4名は、はじまりの美術館が2018年度よりはじめた「はじまりアーカイブス fukushima file」の調査のなかで出会った作家です。

実は4名とも、ほぼ無名に近い作り手です。すでに制作を行なっていない人もいれば、今日もまたひとつ、作品が増えているであろう人もいます。

まずは、ここははじまりの美術館で彼らの作品に出会ってみてください。
これらの作品たちは、作者のまなざしが形になったものともいえます。

そして、それぞれの方が日々生活する事業所や家庭のなかで、「だれか」のまなざしによって残されてきました。作品をいまここにつないできた、様々なまなざしを通して、再度作品に出会っていただければと思います。

本展が、日々うまれる表現について考えるとともに、みなさんのまなざしを少しだけ変えるきっかけとなることを願います。

本展の見どころ

1. 展覧会初出展作家！ 最年少は10歳、最高齢は75歳！

出展作家の4名はほぼ無名の作家たちですが、人知れず福島県内で制作を続けてきました。発表の機会もほとんどなく、公募展を除き美術館での展覧会出展は今回が初となります。

なお、出展作家は2月15日および3月15日の13:30より滞在予定です。

2. 身近な素材をもとに生まれたユニークな作品の数々！

「磐梯山」「いわきの海」「バラ」など繰り返し同じモチーフを絵の具で描き追求してきた大関小夜子、看板や道路標識、町の風景などを描いたり立体化しているK0☆、リハビリをきっかけに絵を描きはじめ、独特なタッチで木や人物、風景などを描く鈴木一郎、段ボールを用いて誰かを喜ばせるためにおもちゃを作ったり、新聞をもとに模写を描き続けている鈴木盛衛の作品。

今回会場では作品解説文などのキャプションを設置していません。初めて出会う作品の数々に、じっくり向き合ってお鑑賞いただくことができます。

3. 作者のまわりの方のまなざしを知ることができるパンフレット！

障害のある方の作品は、周囲の方による発見がないと第三者に届きにくいという特徴があります。各展示室には作者のことを紹介するパンフレットを設置しております。鑑賞後読むことで、新たな視点で作品に出会うことができます。パンフレットはご自由にお持ちかえりいただけます。

出展作家紹介

大関 小夜子（おおぜき さよこ）(63)

1955～2018年、福島県会津若松市出身



《無題》 制作年不詳

K0☆（こうせい）(10)

2009年生まれ、福島県南会津在住



《気になる かんぱん・けいじぱん》(部分) 2019
※こちらの作品は2/26より展示予定です

鈴木一郎（すずき いちろう）(75)

1943年生まれ、福島県会津若松市在住



鈴木 一郎 《無題》 制作年不詳

鈴木盛衛（すずき もりえ）(74)

1945年生まれ、福島県喜多方市在住



鈴木 盛衛 《無題》 制作年不詳

関連イベント

・ ギャラリートーク + アーティスト in はじまりの美術館

2020年2月15日（土）、3月15日（日） いずれも13:30～14:30

参加費：無料（要観覧料） ※事前申し込み不要

作品が生まれた背景や、作者がどんな人なのかについて、企画担当者よりお話をさせていただきます。また、本展出展作家がはじまりの美術館に滞在します。作品のお話を聞いたり、一緒に制作をしたりしてみませんか？
※作者の体調等により、滞在や制作ができない場合がございます。あらかじめご了承ください。

・ トークイベント「ひょうげんとまなざし」

2020年3月21日（土）13:00～16:00

対象：福祉とアートに関心がある方、障害のある方の表現に携わる方をはじめ、どなたでも

参加費：無料 ※要事前申し込み

ゲスト：

大塚千枝氏（厚生労働省/障害者芸術文化活動支援専門官）

樋口龍二氏（特定非営利活動法人まる/代表理事）

はじまりの美術館は2019年度より福島県障害者芸術文化活動支援センターに採択されました。今後、相談支援・人材育成・ネットワークづくりなどを軸に、福島県内で様々な事業を行なっていきます。当日は、厚生労働省より大塚千枝氏を招き、全国での取り組みについて伺います。また、福岡県で先進的な取り組みを行う「特定非営利活動法人まる」の代表理事の樋口龍二氏より活動のお話を伺います。福島でどんな取り組みを行っていくか、ぜひ一緒に考えましょう。

お問い合わせ先：



はじまりの美術館

（広報担当：関根 企画担当：大政）

〒969-3122 福島県耶麻郡猪苗代町新町 4873

TEL/FAX：0242-62-3454

Mail：otoiawse@hajimari-ac.com

WEB：<http://www.hajimari-ac.com/>